

アルミ缶用 ハンドシーマー ver.2

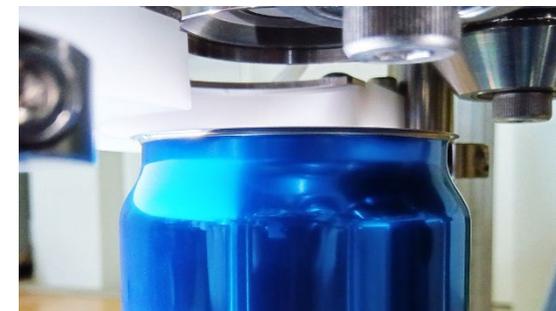
ROOTS



- 25年以上の継続製作実績のあるロングセラー、「ハンドシーマー」。従来から改良を続けてきましたが、この度、全体的な構造見直しを行い、「ハンドシーマー ver.2」に進化しました。
- 巻締の要（かなめ）である「ローラー」と「チャック」は、缶の巻締基準に準拠する高精度品を採用。
- 基本仕様は「ビール缶用」と「清酒缶用」の2種。（その他の缶種についてはご照会ください。）
- 「ビール缶用」：パーツ交換で350mlと500ml兼用が可能。蓋サイズは204か206かをご指定ください。リフターは「ニューマティック式」（エア駆動）で、安定した巻締ができます。
- 「清酒缶用」：東洋製罐の清酒缶「W180」に対応します。「ハンドリフター式」（エア不要、右手のレバーでリフトアップ）と、「ニューマティック式」が選択可能。
- オプション：「ビール缶用」は「アンダーカバーガッシング」機構の搭載が可能。（「清酒缶用」でもニューマティック式の場合は搭載可能）CO₂またはN₂ガスを使用。缶胴と缶蓋の間に約3mmの隙間を開けた状態で、設定時間・設定圧力のガッシングを行い、ヘッドスペースエア量を低減します。

←「ビール缶用」：リフター機構は「ニューマティック式」です。「清酒缶用」でも「ニューマティック式」を選択可能です。

ガッシングノズル（ver.2の改良型）



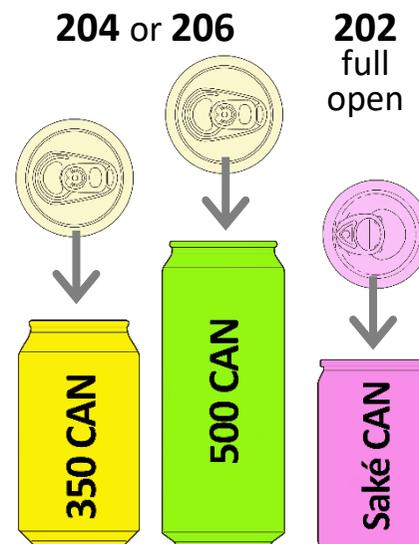
チャックと1stローラー・2ndローラー



Hand-seamer w/gassing 201102-210114-250515-28/tk

「清酒缶用」で選択できる「ハンドリフター式」→
（写真はビール缶を写していますが、ver.2から、
ビール缶は「ニューマティック式」のみとなります。）

実際の外観はカタログ掲載の写真や3D画像と異なる場合があります。仕様、能力などは、改善・改良のため予告なく変更することがあります。



ハンドシーマー ver.2

ROOTS

アンダーカバーガッシング機構付きの行程

YouTube

1) ビール充填済みの缶に蓋を載せて容器にセット、2) 前面安全カバーを下ろして両手ボタンを押す、3) 缶が持ち上がり、チャックが蓋をバキュームで吸着、4) 缶胴のみ約 3mm 下降して缶蓋の下に隙間をつくる、5) 設定時間・設定圧力のアンダーカバーガッシング、6) 缶胴が持ち上がって W シーム、7) 缶がおりてきて巻締め終了。



ビール缶用・ニューマティック式リフター・ガッシング付きの仕様

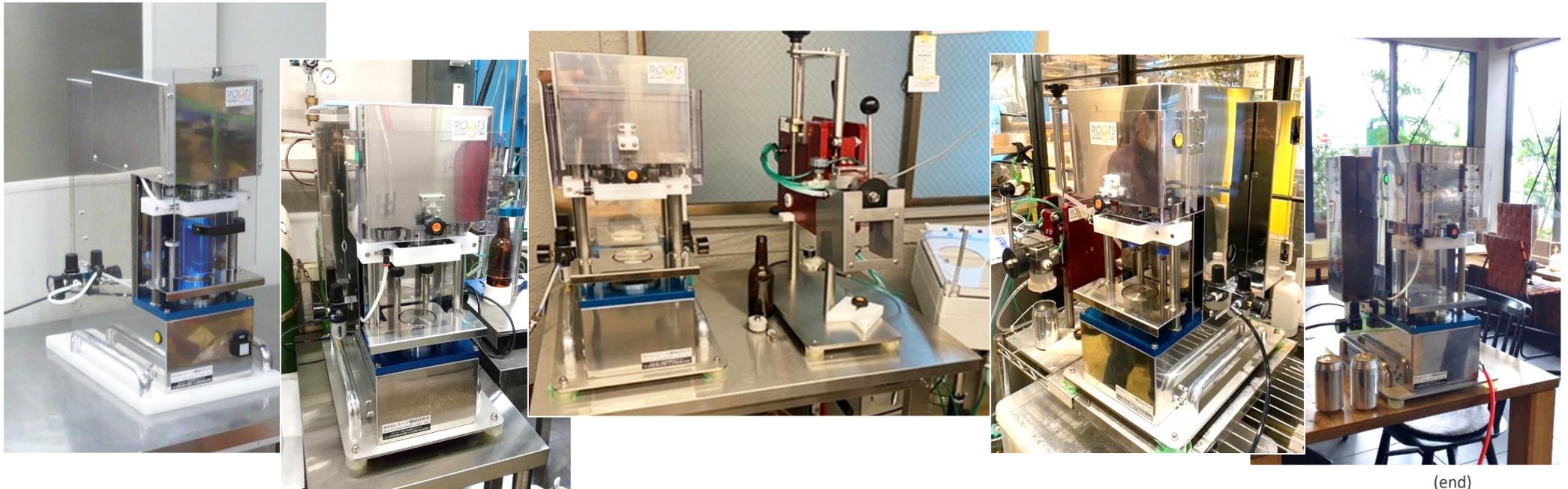
適応容器	缶胴は 350ml または 500ml アルミ DI 缶、蓋は 206 または 204 (事前に指定が必要)
能力	200 缶/時程度 (作業者、缶容量、ガッシング時間などにより異なる)
ユーティリティー	100 V 電源 / ガッシング用 CO ₂ または N ₂ 0.3MPa / エア 0.5MPa
大きさ・重さ	340 W × 480 D × 680 H (350ml 用の概寸) 約 60Kg

清酒缶用・ハンドリフターの仕様

適応容器	東洋製罐 W180 清酒缶
能力	200 缶/時程度 (作業者により異なる)
ユーティリティー	100 V 電源
大きさ・重さ	340 W × 460 D × 600 H 約 40Kg

当機の仕様、能力などは、改善・改良のため予告なく変更することがあります。

Appendix 「ハンドシーマーの納入事例」 クラフトビールと大手ビール研究所で、多くの実績があります。



(end)